



平成28年10月14日

「瀬戸内国際芸術祭2016」香川大学提案プロジェクト事業 観光日記生成・印刷システム「KaDiary/カダイアリー」サービス開始について

観光のICT化の推進を推進し、旅行者の満足度を向上する取り組みが求められています。香川大学工学部電子・情報工学科八重樫研究室は、観光日記生成・印刷システム「KaDiary/カダイアリー」を開発しました。「KaDiary/カダイアリー」とは、観光者が撮影した写真や観光者のコメントから、観光日記を生成し印刷するシステムです。

本事業では、小豆島ふるさと村を訪れた観光客に「KaDiary/カダイアリー」を無料で提供し、観光の振り返りを支援します。観光日記を用いた観光の振り返りは、観光のリポートにつながるだけでなく、生成された観光日記を他の観光客に発信することで、新たな観光客獲得につながる効果も期待されます。実際に観光日記を生成する様子や、生成された観光日記を用いて観光を振りかえる様子もご覧いただけますので、ぜひ取材にお越しください^注。

「観光日記生成・印刷システム「KaDiary/カダイアリー」を用いた観光振り返り支援/観光分析事業」

事業期間：平成28年10月21日(金)～平成28年11月6日(日)

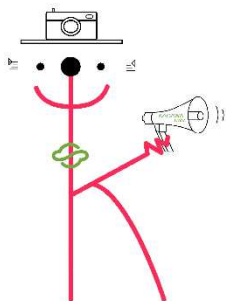
実施場所：小豆島ふるさと村（〒761-4301 香川県小豆郡小豆島町室生 2084-1）<http://www.shodoshima.jp/>

事業責任者：香川大学工学部 電子・情報工学科 八重樫研究室

事業分担者：香川大学工学部 安全システム建設工学科 紀伊・中村研究室

事業協力：小豆島ふるさと村、小豆島町企画振興部、株式会社リコー、株式会社コヤマ・システム、株式会社テリムクリ、香川大学地域連携戦略室

注) 取材にお越しいただく場合、観光を振り返る夕方以降がおすすめです。事前にご連絡ください。



➤ お問い合わせ先

香川大学工学部 電子・情報工学科 准教授 八重樫理人

TEL : 087-864-2241

E-mail : rihito@eng.kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

香川大学工学部 学務係 大熊

TEL : 087-864-2033 FAX : 087-864-2031

E-mail : kokyomu1@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

「瀬戸内国際芸術祭2016」
香川大学提案プロジェクト事業

観光日記生成・印刷システム「Kadiary」
(カダイアリー)を用いた
観光振り返り支援／観光分析事業

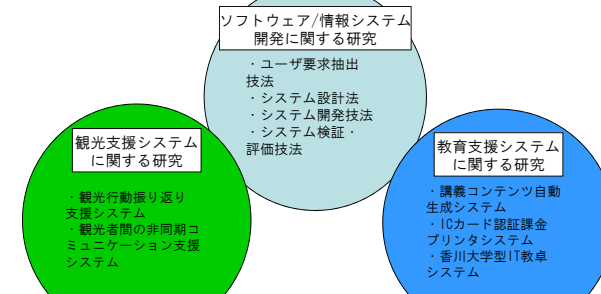
香川大学 工学部 電子・情報工学科
八重樫研究室

1. 八重樫研究室とは

香川大学工学部電子・情報工学科 八重樫研究室

ソフトウェア/情報システム開発技法、教育支援システム、観光支援システムの
研究をおこなっている。2007年7月に設立された。

ソフトウェア/情報システム開発に関する基礎知識を習得



社会の抱える様々な問題をソフトウェア/情報システムを用いて解決する

2. 本事業の背景/目的



図 観光のICT化の推進 (観光庁)

観光庁：観光のICT化の推進。
入手先(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/ict.html>), (2016-02-15参照)。

観光のICT化の推進により、旅行者の満足度を向上する
取り組みが求められる

2. 本事業の背景/目的

観光情報は

「観光に関する人間の判断や行動を導くための伝達的知識」と定義される

倉田陽平：観光における情報デザイン，首都大東京，p.7（オンライン），
入手先 (<http://www.comp.tmu.ac.jp/kurata/class/tinfo2013-8.pdf>)，2013

観光情報の分類は，

- ・観光前の**事前情報**：観光の実施に関わる情報・行動の効率化に関わる情報
- ・観光中の**現地情報**：目的地において入手する情報
- ・観光後の**事後情報**：観光行動を振り返るための情報

に分類される

市川尚，阿部昭博：観光周遊におけるIT支援，
人工知能学会誌，Vol. 26，No. 3，pp.240-247（2011）

観光情報は、観光の段階に応じた内容と形態で
提供することが重要

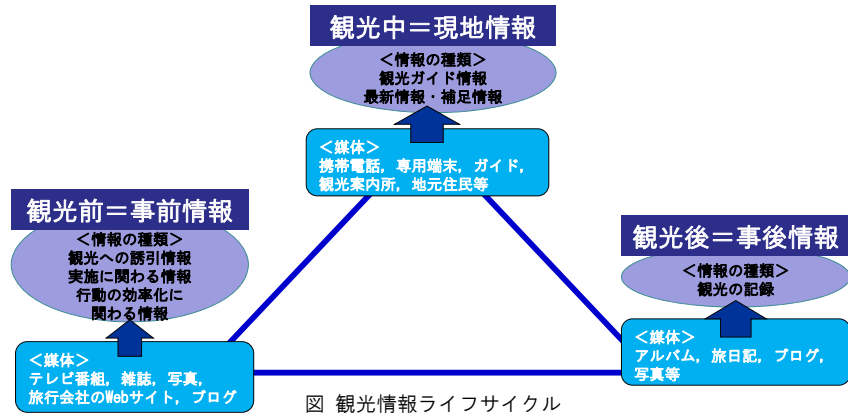
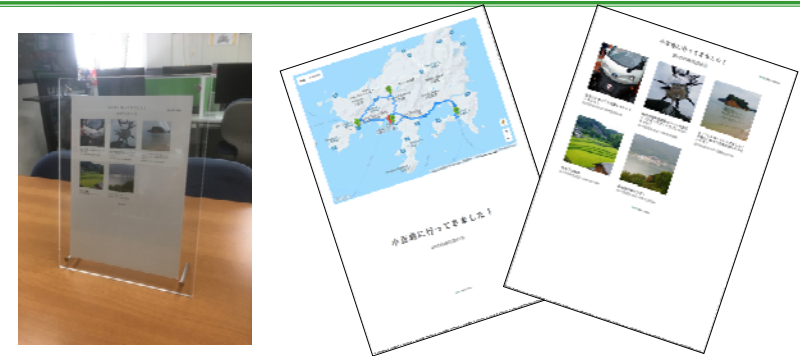


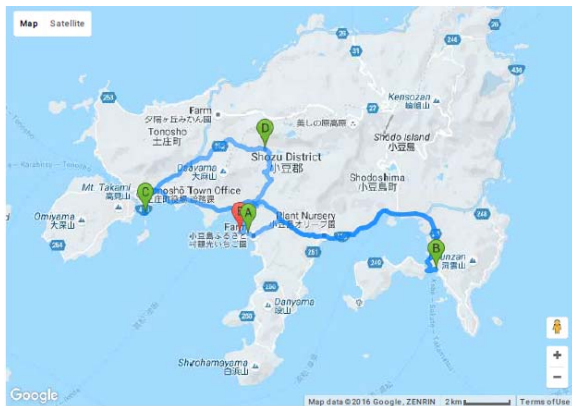
図 観光情報ライフサイクル

上田智昭, 大岡稔, 熊野圭馬, 垂水浩幸, 林敏浩, 八重樫理人: 研究報告情報システムと社会環境 (IS) 2015-1S-131 (4), 1-7, 2015-02-27

観光情報に関する取り組みの多くは、事前情報や現地情報に関するものであり、事後情報を扱った取り組みは少ない。



本事業は、観光日記生成・印刷システムを開発し、観光者の観光の振り返り（すなわち観光情報における事後情報の生成）を支援するものである。得られた観光日記は、観光行動を分析する貴重な情報にもなり得る。
（本事業は小豆島を対象に実施する。）



本事業では、観光者が撮影した写真に付与された情報 (Exif情報) から、観光者の観光行動を抽出する。
→自身の観光行動を振り返る (観光客)
→観光者の観光行動を把握し分析する (観光事業者)

観光日記生成・印刷システム「Kadiary」(カダイアリー)を用いた観光振り返り支援/観光分析事業

事業概要

- ・事業期間：平成28年10月21日(金)～平成28年11月6日(日)
- ・実施場所：小豆島ふるさと村
〒761-4301 香川県小豆郡小豆島町室生2084-1
<http://www.shodoshima.jp/>

事業体制

- ・事業責任者：香川大学工学部電子・情報工学科 八重樫研究室
- ・事業分担者：香川大学工学部安全システム建設工学科 紀伊・中村研究室
- ・事業協力：小豆島町企画振興部, 株式会社リコー, 株式会社コヤマ・システム, 株式会社テリムクリ, 香川大学地域連携戦略室